

# 第155回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年2月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,828	-2.47	-0.11	4,035	-1.12	-0.02
東部地区	14,370	0.78	0.04	5,612	1.51	-0.12
西部地区	10,859	0.39	-0.05	4,019	1.23	-0.09
駅南地区	6,429	0.01	-0.07	2,692	1.93	-0.03
半田地区	3,602	1.15	0.00	1,335	2.85	-0.14
横山地区	5,667	-0.31	-0.08	1,846	-0.16	-0.10
茨目・田尻地区	6,980	1.32	0.07	2,329	1.79	0.12
荒浜地区	5,165	-1.05	0.00	2,007	-0.39	0.04
その他地区	21,211	-1.60	-0.03	7,167	-0.22	0.01
西山町地区	6,395	-1.72	-0.07	2,142	-0.55	0.14
高柳町地区	1,984	-2.74	-0.25	837	-1.52	-0.35
柏崎市計	92,490	-0.59	-0.03	34,021	0.48	-0.03
刈羽村	4,950	-0.74	-0.02	1,542	1.24	0.19
小国地区（長岡市）	6,507	-1.31	-0.06	2,156	0.13	-0.09
出雲崎町	5,304	-1.06	-0.07	1,824	-0.49	-0.05
合計	109,251	-0.66	-0.03	39,543	0.44	-0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で549人、0.59％、刈羽村で37人、0.74％、小国地区（長岡市）で87人、1.31％、出雲崎町で57人、1.06％とそれぞれ減少し、全体では730人、0.66％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で32人、0.03％、刈羽村で1人、0.02％、小国地区で4人、0.06％、出雲崎町で4人、0.07％と減少したことから、全体では41人、0.03％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では出雲崎町で9世帯、0.49％と減少したものの、柏崎市で164世帯、0.48％、刈羽村で19世帯、1.24％、小国地区で3世帯、0.13％と増加した結果、全体では177世帯、0.44％の増加となった。

また、前月比では、刈羽村で3世帯、0.19％と増加したが、柏崎市で12世帯、0.03％、小国地区で2世帯、0.09％、出雲崎町で1世帯、0.05％と減少し、全体では12世帯、0.03％の減少となっている。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	790		-39.27		-8.56	
月間有効求職者	1,650		65.00		13.24	
月間有効求人倍率	0.48	0.43	-0.82*	-0.44*	-0.11*	-0.07*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が790人と前年同月比で511人、39.27％の大幅な減少、前月比でも74人、8.56％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,650人と前年同月比で650人、65.00％の大幅な増加、前月比でも193人、13.24％の大幅な増加となった。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.48倍と前年同月比で0.82ポイント下回り、前月比でも0.11ポイント下回るなど、大幅に悪化している。なお、県平均0.43倍に対しては0.05ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が344人と前年同月比で124人、26.50％の大幅な減少となった反面、月間新規求職者数は479人と前年同月比で167人、53.53％と大幅に増加した結果、月間新規求人倍率は0.72倍となり、前年同月の1.50倍に対しては0.78ポイントと大幅に悪化している。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年2月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	38	-56	3	821	236
共 同 住 宅	0	0	-1	6	-6
事 務 所	2	-1	2	10	-2
作 業 所 ・ 工 場	1	-2	1	18	-8
営 業 建 物	3	2	3	29	8
公 共 建 物	0	-1	0	1	-1
そ の 他	8	-2	4	114	10
合 計	52	-60	12	999	237

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が52件と前年同月比で60件と大幅な減少となったが、前月比では12件と増加している。工種別での主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で56件の大幅な減少となった。

なお、工種全体の申請内容は、新築が28件、増築が15件、改築が9件となっている。また、一般住宅（併用）38件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が25件

（うち新築11件、増築7件、改築7件）、市外施工業者が13件（うち新築10件、増築1件、改築2件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、千kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,460	-0.37	-0.13	25,458	3.95	-8.82
電 力	11,522	-3.08	-0.17	35,750	-27.70	-2.23

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で247口、0.37%の減少、前月比でも90口、0.13%と減少している。一方、電力も前年同月比で367口、3.08%の減少、前月比でも20口、0.17%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で969千kwh、3.95%の増加となったものの、前月比では2,465千kwh、8.82%と減少している。一方、電力においては前年同月比で13,697千kwh、27.70%の大幅な減少となり、前月比でも818千kwh、2.23%と減少している。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,874,305	-4.47	7.97	693,807	2.17	1.10
営 業 用	323,995	-9.36	2.01	115,146	2.73	1.92
工 場 用	592,339	-29.03	-5.38	136,243	0.04	17.82
官 公 学 校 用	696,123	-5.78	-5.40	78,185	2.57	-1.36
そ の 他				37	3600.00	-48.61
合 計	3,486,762	-10.44	2.08	1,023,418	1.98	2.94

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で406,468m<sup>3</sup>、10.44%の大幅な減少となったものの、前月比では71,262m<sup>3</sup>、2.08%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で減少しているが、前月比では家庭用、営業用で増加となっている。

一方、水道給水量においては、前年同月比で19,876m<sup>3</sup>、1.98%の増加、前月比でも29,237m<sup>3</sup>、2.94%の増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加しており、前月比では家庭用、営業用、工場用で増加している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	69,059	-0.14	-1.93	71,430	-2.14	-3.92
西 山	41,017	4.40	-2.23	37,742	5.45	-2.32
米 山	16,993	5.13	-5.19	16,037	2.45	-6.27
合 計	127,069	1.97	-2.47	125,209	0.61	-3.75

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で2,462台、1.97%の増加となったものの、前月比では3,230台、2.47%と減少している。一方、出口においても、全体では前年同月比で771台、0.61%の増加、前月比では4,890台、3.75%の減少となっている。インター別の内容を見ると、前年同月比では柏崎インターが入口・出口ともに減少したものの、西山・米山インターでは入口・出口ともに増加しており、前月比ではすべてのインターで入口・出口ともに減少となった。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	354,204	2.16	1.01	155,929	2.01	1.92
平 残	347,757	0.59	-0.31	151,664	1.48	1.46

預金は、末残が前年同月比で7,495百万円、2.16%の増加、前月比でも3,561百万円、1.01%の増加となった。平残は前年同月比で2,048百万円、0.59%の増加となったものの、前月比では1,094百万円、0.31%と減少している。一方、貸出金においては、末残が前年同月比で3,085百万円、2.01%の増加、前月比でも2,952百万円、1.92%の増加となっている。また、平残も前年同月比で2,225百万円、1.48%の増加、前月比でも2,188百万円、1.46%の増加となった。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	4,648	-10.82	-4.20
交 換 金 額	4,192	4.88	-4.03
不 渡 り 手 形 枚 数	14	0.00	180.00
不 渡 り 手 形 金 額	8	0.00	218.09

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、当月末日の休日要因から、交換枚数が前年同月比で564枚、10.82%の大幅な減少、前月比でも204枚、4.20%と減少している。また、交換金額では前年同月比で195百万円、4.88%の増加、前月比では177百万円、4.03%の減少となっている。なお、不渡手形は14枚、8百万円発生し、取引停止処分が1枚、0.2百万円発生している。法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産6件（前年同月3件、前月6件）、負債総額38億円（同29億円、同25億円）、1件当たりの負債額6億円（同9億円、同4億円）となっている。地区別では下越地区で4件（新潟市4件）、中越地区で2件（長岡市1件、三条市1件）、上越地区では発生していない。業種別は建設業4件、製造業1件、その他1件となっており、倒産原因については、発生した6件すべてが販売不振となっている。当月の企業倒産は6件、負債総額で38億円と前年同月比では件数で3件増加、負債総額では9億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産が1件発生している。経済環境は、景気が後退しているなか、雇用不安や賃金の伸び悩みが今後の個人消費を一段と冷え込ませる恐れもあるなど、先行き不透明感は強まっており、年度末に向けての倒産動向には注視していく必要がある。